

English Challenge(2025.12.20)

本校の2学期の終わりには、毎年、英語担当の外国人教員が主催する”English Challenge”というイベントが開催されます。中学1～3年の各クラスから選抜された代表が、英語の授業で取り組んできた成果を発表して競い合います。

中学1年生は、「私の大切なものの」というテーマでスピーチを行いました。紹介するものを実際に見せながら説明する”Show and Tell”という形式です。英語を流暢に話すだけでなく、ジェスチャーや表情をうまく使い、聞き手に伝わるように工夫する必要があります。声色を変えて聴衆の注意を引いたり、ズッコケて笑いを誘ったりと、皆表現力豊かに発表していました。

中学2年生は、英語劇を披露しました。「人生における教訓」というお題をグループごとに自由に解釈して、ゼロから台本を書いて劇を作ります。同級生が様々な役柄・衣装で登場するたびに、観客席の生徒たちも大喜びで迎えます。各クラス代表の劇は、どれも独特の場面設定の中で観客の笑いを誘う部分を作っています。それをわかりやすく伝える演出も含めて素晴らしい出来でした。

中学3年生は、英語でプレゼンテーションを行いました。「ドーナツの作り方」「ラクロスとはどんなスポーツか」「テルミン(ロシアの楽器)の演奏方法」などを、スライドを使いながら説明する、というものでした。視覚情報をうまく使いながら、最高学年らしい堂々とした発表を見せてくださいました。

プレゼンテーションとは別に、3年生の学年代表がスピーチも行いました。「How to make a difference in the world?」という壮大なテーマでしたが、「身近な人々と些細な会話をすることが世界をより良くするのだ」という学生の実感に根差した主張を、鮮やかな起承転結の流れで見事に説明していました。

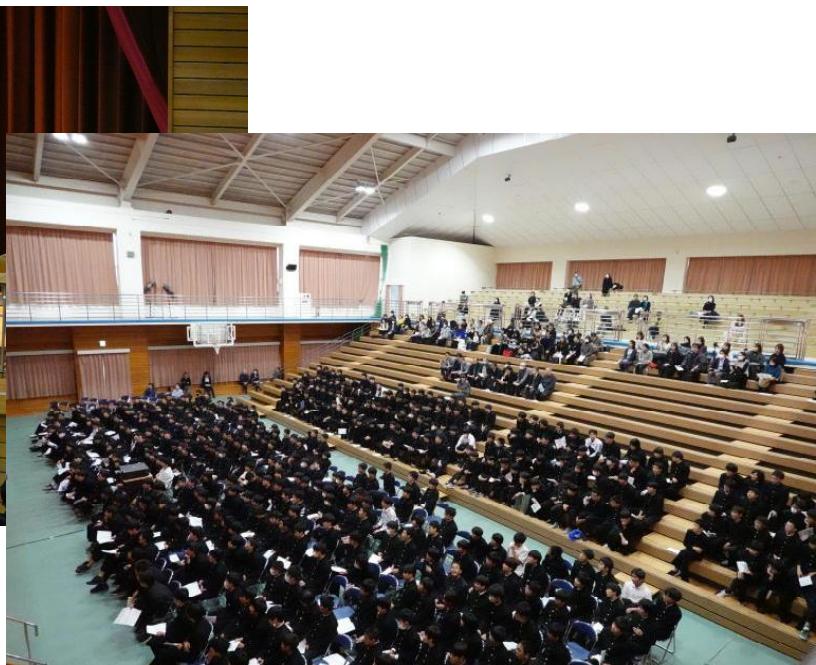
その後、各学年の選抜メンバーから、歌と踊りの発表がありました。普段の授業で、生徒たちは外国人教員が選んだ英語の歌を練習し、友人とグループを作って発表します。その中で、特に素晴らしい発表をしたグループが各学年から選ばれ、English Challenge の舞台で練習の成果を披露しました。クラスメートの見ている中で歌って踊るのはなかなか勇気がいることですが、中1から中3までの代表は皆、堂々とした演技を披露していました。

最後に、毎年恒例の、英語教員によるサプライズの発表が行われました。今年は、「YMCA」の替え歌「LSJH(La Salle Junior High)」とともに、教員たちがダンスを披露しました。いつも真面目な先生たちがユーモラスに踊る姿に、生徒たちも喜んでいました。

普段の授業とは一味違う、この学校ならではの English Challenge は、生徒にとって、英語を使って相手を惹きつけること、自分の想いを表現すること、そして何より、英語を楽しむことを学ぶ、素晴らしい機会だと思います。



上 中2の英語劇
右 観客席 自宅生の親御さんも
見に来くださいました





中2の英語劇



中2の英語劇



中3の英語プレゼン



中1のダンス



中1のダンス



英語科教員による歌と踊り



実行委員の皆さん



表彰式風景